

事業コード	H21-農-新-05		区 分	国庫補助 県単独
事業名	農地地すべり対策事業		部局課室名	農林水産部 農地整備課
事業種別	地すべり対策工事		班 名	水利整備・防災班 (tel) 018-860-1830
路線名等	鹿角市花輪、尾去沢		担当課長名	清野 弘久
箇所名	堪忍沢地区		担当者名	藤原 和信
総合計画との関連	政策コード	19	政 策 名	水と緑豊かな自然環境の保全
	施策コード	03	施 策 名	森林・農地等の多様な機能の発揮による水と緑の秋田の創造
	指標コード	04	施策目標(指標)名	農地等の保全活動取組面積(年間)

## 1. 事業の概要

事業期間	H21 ~ H25 (5年)		総事業費	3.5億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	地すべり防止施設 1式 (地下水排除工、地すべり抑制工)						
事業の立案に至る背景	平成20年4月中旬に鹿角市尾去沢の西山農免道路において道路のり面法枠がはらみ出し、農道通行が危険なため同年6月13日に鹿角市が通行止を行った。 同年9月に東北農政局資源課地質官との現地調査の結果、地すべり発生が確認された。 地すべり等防止法による防止区域の指定を受け、地すべり対策事業により調査・解析・設計を行い、地すべり防止施設を施工して道路通行の安全を図り、農産物輸送や地域交通の再開を予定している。						
事業目的	[主たる目的] 地すべり被害の防止 (指定区域面積A=25.50ha) 面積の内訳: 田0.45ha、畑2.35ha、果樹園2.13ha、山林12.34ha その他8.23ha 農道延長6,639mの通行再開						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度以降
	事業費		350,000	20,000	75,000	215,000	40,000
	経費内訳	工事費	257,400		45,150	197,000	15,250
		用補費	3,000				3,000
		その他	89,600	20,000	29,850	18,000	21,750
	財源内訳	国庫補助	175,000	10,000	37,500	107,500	20,000
		県 債	157,500	9,000	33,750	96,750	18,000
その他							
一般財源	17,500	1,000	3,750	10,750	2,000		
事業内容	地下水排除3410m,法面・排土工,実計・調査観測1式	調査観測1式	地下水排除工2410m 実施設計・調査観測1式	法面工・排土工1式 実施設計・調査観測1式	地下水排除工1000m 実施設計・調査観測1式		
調査経緯	鹿角市により道路法枠はらみ出し箇所の調査ボーリングによる地すべり調査を行った。 鹿角市の調査結果と東北農政局地質官の現地調査で、くぼ地や地面の亀裂等の状況から、地すべりの発生を確認した。						
上位計画での位置付け	「秋田21総合計画」第4期実施計画において、「森林・農地等の多様な機能の発揮による水と緑の創造」の施策として位置付けられており、農地や農業用施設の適切な保全を行う事業である。						
関連プロジェクト等	特になし						
事業を取り巻く情勢の変化	近年全国各地で発生している土砂災害に対して、対策事業の要請は高い。 生命財産を一瞬にして奪う地すべりに対して、地すべり防止施設整備が急務となっている。						
事業効率把握の手法	指標名	地すべり危険箇所整備(概成)率					
	指標式	地すべり危険区域の概成地区数 ÷ 工事实施地区数					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	26 地区		データ等の出典	H20年度まで実績		
	達成値 b	20 地区					
達成率 b/a	76 %		把握の時期	平成21年 3月			

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	「地すべり等防止法第7条」により、地すべり指定地域内の地すべり防止工事施行は都道府県知事が行うこととなっている。 農地、道路等の農業用施設への被害を防止し、地域農業の維持、県土の保全、民生の安定を図るため地すべり防止工事は必要である。	20点
緊 急 性	被害対象が農地にとどまらず、人命、道路等の公共施設にまで及ぶため、緊急に対策工事の実施が必要である。平成21年7月18～19日の大雨で、地すべり兆候のあった箇所地すべりが発生し、土塊が道路を覆い非常に危険な状態となっている。通行止め措置がなされていたため、通行車両が無く事故発生がなかったが、これがもし事故発生となれば、大変なことであり、早急に地すべり対策を実施する必要がある。	20点
有 効 性	地すべりが発生した農道は、鹿角地域における農産物の物流を担う主要道路であるとともに一般交通も多い。大館方面や鹿角市内・八幡平方面に向かう経路として鹿角市市街地を通る国道282号線のバイパス的の道路ルートとなっており、地すべり防止対策を実施し道路通行を確保することは有効である。	15点
効 率 性	費用対効果分析を実施した結果、費用以上の効果が認められる。 ・総費用 (C) 350百万円 ・総便益 (B) 506百万円 ・分析結果(B/C) 1.44	10点
熟 度	地元市町村からは、迂回路狭隘のため大型車両が通行できないばかりでなく、農道を通行する一般車両とのすれ違い事故、荷痛み発生が危惧される状況であり、通行確保と農業生産の活性化のため、地すべり防止工事の施工を強く要望されている。	20点
判 定	ランク ( ) 「必要性」や「有効性」が特に高い点数となっており、農道交通、一般交通の安全・安心の確保や、鹿角市農業生産活性化のためにも有用な事業箇所であり、実施すべきと考える。	85点
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	農免農道周辺に発生した地すべりによる農地や公共施設への被害拡大を防止するため、本事業の必要性、緊急性はともに高いと判断される。 なお、既に一部で崩落が生じていることから、早急に対策工事を進めるべきである。

## 4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
当該地区は、新たに地すべり防止区域に指定されたこと、また7月に豪雨災害により農免道路が通行止めとなっていることから、対策工事の必要性は高いと考えられる。 事業の実施に当たっては今後実施する詳細設計等で工法等のコスト縮減に努めること。	

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

事業実施にあたっては、コスト縮減に努め、早急に対策工事を実施する。
-----------------------------------

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 新規箇所評価  
適用基準名 地すべり対策事業

事業コード (H21-農-新-05 )  
箇所名 ( 堪忍沢地区 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性	法令等で県が実施する事業	5	5	
	県関与の必要性	県が実施すべき広域的な事業	3		
		県が実施した方が望ましい事業	1		
	地すべり危険地指定面積	20ha以上	5	5	
		10ha~20ha未満	3		
		5ha~10ha未満	1		
	地すべり地形の明瞭性	明瞭に確認できる	5	5	
		部分的に明瞭箇所が確認できる	3		
		不明瞭である	0		
	手段の妥当性				
代替手段の有無	手段に代替性がない	5	5		
	他の手段と比較検討する余地あり	1			
	計		20	20	
緊急性	災害発生の危険度				
	地すべり兆候	全体的に変状が認められる	10	10	
		部分的に変状が認められる	5		
		具体的変状は見られない	3		
	事業未実施の影響				
	農地施設の現況	使用が不可能である	10	5	
		使用が制限されている	5		
使用が可能である		0			
人命被害の有無	人命に基大な被害が生じる恐れがある	10	5		
	人命に被害が生じる恐れがある	5			
	人命に被害が生じる恐れがない	0			
	計		30	20	
有効性	期待される具体的な効果				
	農業用施設等への被害	国、県造成の基幹的施設等に影響がある	5	5	
		団体造成施設等に影響がある	3		
		その他の施設等に影響がある	1		
	公共施設等への被害	1、2級河川や国、県道に影響がある	5	5	
		市町村道、林道等に影響がある	3		
		ほとんど影響がない	0		
施策目標への貢献					
あきた21総合計画への貢献	あり	5	5		
	なし	0			
	計		15	15	
効率性	事業の投資効果				
	費用対効果	B / C = 1.5以上	10	5	
		B / C = 1.0以上1.5未満	5		
		B / C = 1.0未満	0		
	コスト縮減の検討				
該当項目の有無	コスト縮減を検討し、計画に反映している	5	5		
	コスト縮減を検討している	3			
	コスト縮減を検討していない	0			
	計		15	10	
熟度	事業着手の理解度				
	地元住民の理解度	事業への機運が高い	10	10	
		事業への機運が低い	0		
	関係自治体の要望	事業実施に向けた積極的な関与がある	10	10	
事業実施に向けた要望がある		5			
	要望がない	0			
	計		20	20	
合計			100	85	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		